

2020年1月21日

## 東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する現地調査

原子力規制委員会は、東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に関連し、同発電所の現地調査を下記の通り実施しますのでお知らせします。

この現地調査では、東京電力 HD(株)の事故分析チームとも連携し、主に2号機原子炉建屋のオペレーティングフロアにおいて、遠隔操作ロボット(PackBot)を用いたシールドプラグ上における汚染調査を行います。

### 1. 実施日

2020年1月30日(木) 7:35~13:00

### 2. 場所

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

### 3. 参加メンバー

かねこ しゅういち  
金子 修一 原子力規制庁 審議官

やすい まさや  
安井 正也 原子力規制庁 原子力規制特別国際交渉官

いわなが こうへい  
岩永 宏平 原子力規制庁 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室 企画調査官  
他

### 4. 内容

- 2号機原子炉建屋オペレーティングフロア

遠隔操作ロボット(PackBot)を用いたシールドプラグ上における汚染調査

オペレーティングフロア	原子炉建屋最上階、通常は燃料交換等の作業をするための開けたフロア
PackBot(パックボット)	米国企業が開発した、遠隔操作多目的ロボット
シールドプラグ	2号機格納容器上部、オペレーティングフロア床面と同じ高さで、床にはめ込む形で設置されているコンクリート製の蓋

## 5. 取材案内

以下の時間、場所において取材可能です。

核物質防護上の観点から下記②～④は代表撮影のみ(福島放送局・新聞社各1社、東京放送局・新聞社各1社、計4社まで)とさせていただきます。撮影を行わない記者取材(ペン取材)は全社参加可能です。ただし、移動用の車両定員等の都合上、申込多数の場合には参加人数の調整をお願いさせていただくこともございます。ご理解、ご協力をお願いいたします。

その他、後述6の取材の申し込み方法と取材時の注意事項についても、よくご確認ください。

また、当日の様子について、後述7の通り、原子力規制庁より素材を提供いたします。

### (1) 取材スケジュール

<1月30日(木)>

#### ① 調査前ミーティングの様子

時間 7:35～7:45

場所 新事務本館 101 会議室

#### ② 1～4号機原子炉建屋の外観など

時間 8:45～9:10

場所 1・2号機開閉所前高台

#### ③ 調査チームが2号機原子炉建屋へアクセスする様子

時間 9:35～9:50

場所 2号機原子炉建屋付近

※当日の廃炉作業等の状況によっては、2号機周辺の通行制限等のため、

③の箇所での取材ができない場合もあります。予めご了承ください。

#### ④ 遠隔操作ロボットによる調査の様子

時間 10:25～10:55

場所 免震重要棟 遠隔操作室

#### ⑤ NRA 事故分析チームによる取材対応 (ぶらさがり形式)

時間 13:00

場所 新事務本館 エントランス

### (2) 集合場所・時間

時間 1月30日(木) 7:00

場所 東京電力廃炉資料館 (福島県双葉郡富岡町大字小浜字中央 378)

別紙1参照。発電所の「新事務本館」まで専用バスに乗り換えて移動

## 6. 取材の申し込み方法

取材を希望される方は、別紙2の取材申込書に必要事項をご記入のうえ、  
1月24日(金)15:00までに下記宛てFAXにてお申し込みください。

### 【取材申し込みおよび問い合わせ先】

原子力規制庁 長官官房総務課 広報室

電話 03-5114-2105

FAX 03-5114-2175

担当 林田・羽賀

### 注意事項

- ・当日の進捗により、取材時間が前後する場合がございます。
- ・取材時は、原子力規制庁および東京電力HD職員の指示に従ってください。
- ・ぶらさがり等の取材対応以外のタイミングでは、現場の視察者や作業員等への声かけ取材はご遠慮ください。ご質問がございましたら、随行の担当者へお願いいたします。
- ・参加される方は、施設入構時に本人確認及び所持品検査等が必要となります。各自、取材申し込み時に申請された氏名、住所等が証明できる写真付公的証明書の原本【運転免許証、パスポート、写真付住民基本台帳カード、写真付マイナンバーカードのいずれか】を持参してください。証明書を持参いただけない場合は、入構できません。
- ・構内への持ち込み物品には制限がありますので、所持品の開封検査などをさせていただく場合があります。
- ・構内に持ち込む物品は、最低限必要なもの(筆記用具、貴重品等)のみとしてください。無断でカメラ等の物品を持ち込んだ際は、確認した時点で本取材を中止させていただきます。持ち込み物品以外の荷物は、集合時にマイカーに保管、または東京電力が用意する送迎車中に置いてください。
- ・代表撮影の方は三脚、一脚等は持ち込み可能ですが、持ち出し時の汚染検査で反応があった場合、持ち出すことができません。地面に付く脚部をはじめ、ビニールで覆う等の養生を十分に施しておいていただく必要があります。
- ・各社の腕章を着けての取材をお願いいたします。
- ・安全確保のため、半袖・半ズボン・サンダル等の軽装は厳禁です。長袖、長ズボン、靴を着用してください。
- ・雨合羽や防寒具等は各自でご用意ください。
- ・核物質防護上の観点から、発電所構内での取材を一部制限させていただきます。なお取材後は、東京電力HDによる撮影内容の確認があります。

## 7. 写真・動画等提供

後日、原子力規制庁より下記の URL にて写真・映像などの素材を提供する予定です。公開して利用する際は、「原子力規制委員会提供」などのようにクレジット表示をしていただきますようお願いいたします。

<http://nra.webcdn.stream.ne.jp/www11/nra/download/archive.html>

### 【調査に関する問い合わせ先】

原子力規制庁

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室 室長 竹内

担当 岩永

電話 03-5114-2120(直通)

### 【取材に関する問い合わせ先】

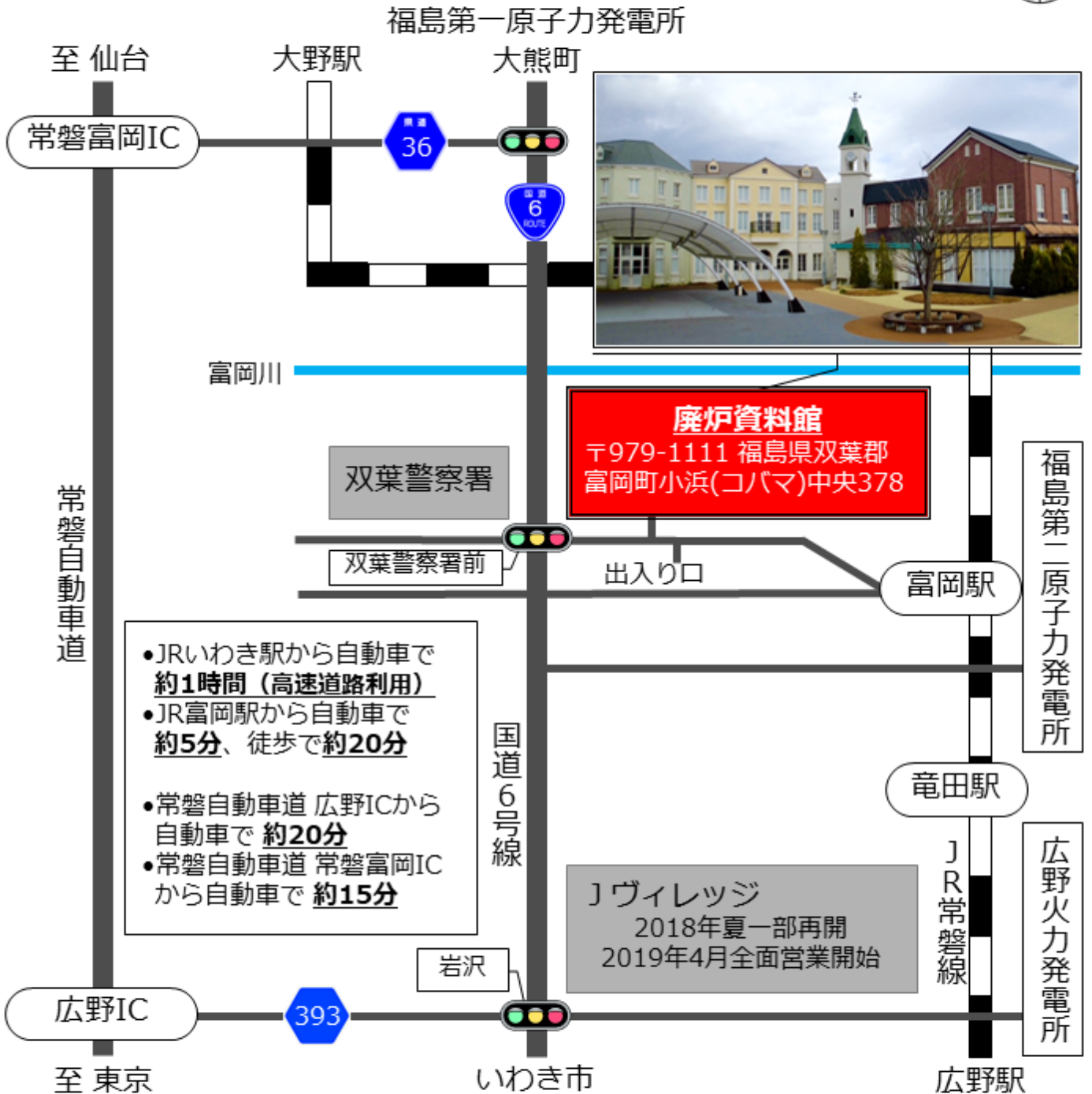
原子力規制庁 総務課広報室

室長 関

担当 林田・羽賀

電話 03-5114-2105(直通)

## 廃炉資料館 案内図



## 原子力規制委員会 福島第一原子力発電所の事故分析現地調査 取材申込書

- ◆ プレスリリース本文「6.取材の申し込み方法」の注意事項をよくご確認ください。
- ◆ 取材時には、原子力規制庁・東京電力HD 職員の指示に従ってください。
- ◆ 団体で申し込む場合、電話・メールは、当日連絡がつく代表の方のみで構いません。
- ◆ 代表撮影の方は、別紙 2-2 の撮影機器登録もご記入の上、あわせてご提出ください。

FAX 送付先 03-5114-2175 原子力規制庁 長官官房総務課 広報室

締切 1月24日(金) 15:00 必着

性別	氏名	フリガナ	生年月日	国籍コード
所属				
住所				
電話番号	車両登録等(車でお越しの方は車種・ナンバーを記載)			
視察回数	直近の視察時期			
身長	靴サイズ	メガネの有無		
当日持参する本人確認書類 運転免許証 / パスポート / 在留カード・特別永住者証明 / 写真付き住基カード				

## 【記入例】

性別 男	氏名 規制 太郎	フリガナ キセイ タロウ	生年月日 1990/1/21	国籍コード※1 JPN
所属 原子力規制庁 長官官房総務課広報室				
住所※2 東京都港区六本木 1-9-9 六本木ファーストビル				
電話番号 03-5114-2105	車両登録等(車でお越しの方は車種・ナンバーを記載) 車両なし			
視察回数 初めて/3回目…など	直近の視察時期 2019/12/19			
身長 170cm	靴サイズ 26.5cm	メガネの有無 有		
当日持参する本人確認書類に○ 運転免許証 / パスポート / 在留カード・特別永住者証明 / 写真付き住基カード				

※1 日本国籍以外の方の国籍コードはお問い合わせください。

※2 当日持参する本人確認書類と同じ表記にしてください(丁目・番地・建物名有無など)。

**原子力規制委員会 福島第一原子力発電所の事故分析現地調査  
撮影機器登録**

- ◆ 代表撮影の方は、下記もご記入の上、別紙 2-1 とあわせてご提出ください。
- ◆ 登録・持ち込みができる撮影機器は、1 人 1 台のみです。

撮影者氏名	メーカー名	機器名称	数	単位
(例) 規制 太郎	SONY	HXR-NX5R	1	台

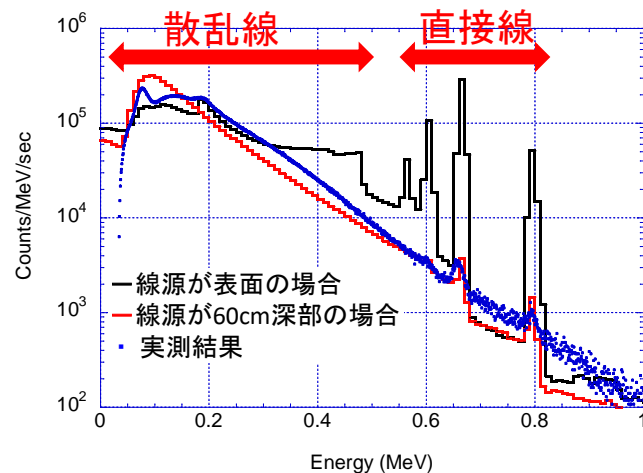
## 目的①(リスク低減、燃料取り出し工法や作業時の線量低減に資する調査)

- 東京電力による2号機原子炉建屋オペレーティングフロア(オペフロ)の除染において、表面の汚染が線源と想定して床面の洗浄やハツリ等の除染作業を行っているが、現時点で十分な線量率の低減効果が得られていない。
- 規制庁は、原子炉直上のシールドプラグの下面等に高密度の汚染があり、これが大きな線源となっていると推定。
- 規制庁は、オペフロ上において線源がシールドプラグ下面などの深部にあることを確認する。

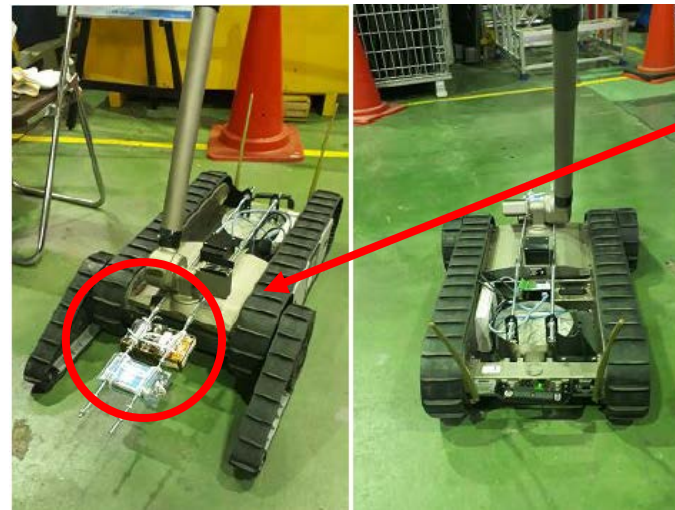
## 目的②(事故の分析に資する調査)

- 事故の分析の観点から、規制庁は、オペフロにおいて、シールドプラグ上の $\gamma$ 線源の分布を測定、分析することで、事故当時に放出された放射性物質がどのような経路を通じて放出されたのか、また現在付着している放射性物質の核種や吸着量の検討を行う。

### 汚染状況の把握



### 東京電力所有の調査ロボットを用いた遠隔測定



$\gamma$ 線検出器  
 散乱してエネルギーが低くなった $\gamma$ 線を捉える機能を持つ

東京電力より提供



新型コロナウイルス感染防止対策として、これまで発電所取材は基本的にお断りしてきたが、社会情勢等に鑑み、2020年7月から取材申込の受付を再開した。

取材者、および社員・作業員の安全を第一に考え、「新しい生活様式」に即した取材対応を行い、以下の通り、感染防止対策を徹底する。

### 【感染防止対策】

- ①過去2週間において、以下の内容が守られていること。
  - ・政府およびお住まいの都道府県が定める「新しい生活様式」を守れていること。
  - ・接待を伴う飲食店・カラオケ・ライブハウスなど、過去にクラスターが発生しているような施設・3密のある場所（マスク無しで人との距離が1m未満・15分以上接触が目安）に行っていないこと。
  - ・同居するご家族が「新しい生活様式」を守れていること。
  - ・海外渡航履歴がないこと。（聴き取りにより確認）  
→「渡航歴あり」の場合は、外務省HPの「水際対策強化」を満たしていること。
- ②その他、ご確認・ご協力をいただくこと。
  - ・3密回避のため、1案件あたり10名まで（エスコート者を除く）とする。
  - ・当日の体温について確認（聴き取り）を行う。  
→37℃以上の場合は、状況を確認し、取材をお断りする場合がある。
  - ・発熱・咳や倦怠感等がある場合は、取材を自粛していただく。
  - ・移動車内（構外・構内）では、隣り合ったシートに座らないよう指定、構内バスでの綿手着用、構外バスは視察後消毒実施を行う。
  - ・取材時のマスク着用、手指消毒を徹底する。
  - ・会議室使用時は、各人の距離をできるだけ2m(最低1m)あける。
  - ・新事務本館ならびに大型休憩所の食堂は当面使用しない。